

事務事業名	下水道管渠長寿命化対策事業(含む地震対策)		会計	下水道		実施区分			
			事業種別	政策	開始	24	終了	30	
H28担当課等名	下水道課	H28係等名	下水道施設管理係		H27係等名	下水道施設管理係			
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
	施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	布設後50年を経過した管路施設					指標名及び単位	27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	・当市の公衆衛生の向上、あわせて公共用水域の水質保全・下水道本管事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る					対象指標	対策管路延長(Km)	1.4
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度						人孔管口耐震化(カ所)	12
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	長寿命化計画策定(H24-25)延長 (Km) 長寿命化対策(第1期改築H26-30)延長 (Km)			2.8	2.9	4.2	4.2	
	成果指標	地震対策計画策定(H25)延長 (Km) 地震対策(第1期H26-30)人孔管口耐震化(カ所)			41	35	51	51	
	定性目標								
事業概要	下水道管路施設の健全度に関する点検・調査結果に基づき、優先度の高い地区から「長寿命化対策」に係る計画を策定し、地震対策も含めた計画的な改築を行う事業。 ・飯田市下水道長寿命化計画(飯田処理区第Ⅰ期)に基づく長寿命化対策延長 6.9km ・飯田市下水道総合地震対策計画に基づく地震対策延長 3.8km(人孔管口耐震化 154カ所) ・下水道BCP策定 ※平成20年度に国が制定した「下水道長寿命化支援制度」では、平成25年度以降、施設の長寿命化対策及び改築に対する補助金(交付金)は「下水道長寿命化計画」に基づくものに限定している。(「長寿命化計画」を策定しないと補助金の交付を受けることができない)								
	事業内容			名称			活動指標		
27年度事業内容	1 長寿命化対策 布設後50年以上を経過した幹線・枝線の管更生(旧市内)			1 管更生延長			1 L=1.4km		
	2 地震対策 主要幹線管路の人孔管口耐震化			2 管口耐震化実施カ所			2 12カ所		
	3 地震対策 下水道BCP(公共川路・特環)策定			3 計画策定			3 1式		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		180,895	163,565	160,737	171,209	[28特定財源] (国)社会資本整備総合交付金(1/2) (起)下水道事業債(充当率100%) (そ)使用料 29,662			
国庫支出金		55,313	44,333	44,333	47,500				
県支出金									
起債		71,200	82,155	78,775	88,047	[27特定財源] (国)社会資本整備総合交付金(1/2) (起)下水道事業債(充当率100%) (そ)使用料 34,495			
その他		47,995	34,495	34,495	29,662	打切決算に伴う未収金44,333千円 打切決算に伴う未払金42千円			
一般財源		6,387	2,582	3,134	6,000	[26特定財源] (国)社会資本整備総合交付金(1/2)			
人件費計(千円)②		17,880		16,092					
正規職員所要時間		5,000		4,500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		198,775	163,565	176,829	171,209				
事業内容・目標達成状況の振り返り		平成26年3月策定の飯田市下水道長寿命化計画(飯田処理区第Ⅰ期)及び飯田市下水道総合地震対策計画に基づき事業を実施した。また下水道BCPについて、前年度策定の公共飯田処理区へ公共川路、特環竜丘・山本・和田処理区を含めた下水道BCPを策定した。							
改革改善の考え方	①問題点	長寿命化計画策定時点(H25)において、布設後経過年数50年未満の管路は本事業の対象外である。							
	②改革提案	公共下水道管路施設管理事業により、幹線及び防災上重要な管路等を優先的に実施していく。							